



岡崎竜城ライオンズクラブ

2010-2011第38期がスタートしました

2010-2011岡崎竜城ライオンズクラブ 会長 L.村越 健

わがクラブの方針

「全員参加ー市民の中へ」参加民主主義と地球市民の自覚

「原点に還ろう ポジティブに 社会貢献」アメリカの民主主義の原点 ボランタリーアソシエーション(自立的住民集会)

ライオンズクラブの原点に還る (ボランティア精神global, historical and individual thought)

2010年7月14日第904回例会 会長あいさつ より



第904回初例会 2010年7月14日

本年度最初となる第904回例会が、幹事のL.時々輪の司会により、定例会場において多数の来賓をお迎えして開催されました。

会長L.村越は、1,ライオンズクラブと世界の閉塞状況 2,わがクラブの方針 3,変容するアクティビティ 4,ヘレンケラーの言葉(勇気をもって社会貢献)と自ら会長あいさつ(要旨)を会員に配布したうえで、長い時間をかけて、今期に臨む姿勢を表明されました。

ご来賓の祝辞では、江村教育長が、岡崎市長の祝辞を代読され2010年度の幕開けをお祝いくださいました。

引き続き昼食交流会が、今年度副幹事のL.羽田の司会によって執り行われました。昼食交流会では、ご来賓お二方からの祝辞を頂戴して、和やかな中で会が締めくくられました。



ご出席いただきましたご来賓の方々

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 岡崎市教育委員会 教育長 | 江村 力様 |
| 岡崎信用金庫 常務理事 | 上野正彦様 |
| 中部経済新聞社 三河支社支社長 | 清水裕志様 |
| 株式会社東海愛知新聞社 専務取締役 | 大津一夫様 |
| ライオンレディーの会 世話人 | 村越桂子様(ライオンレディー) |
| 同 | 近藤和美様(ライオンレディー) |

目次:

2010-2011新年度スタート	1
8.24 特別事業開催	2
巨大台風に関するニュース	2
岡崎市教育委員会との打合せ	3
2009-2010役員慰労会	3

お知らせ

巨大台風がやってくる! 講演とシンポジウムの集いーボランティアと社会貢献ー

- 主催 岡崎竜城ライオンズクラブ (後援 岡崎市教育委員会)
- 日時 2010年8月24日(火) 午後1時30分~午後3時30分(午後1時開場)
- 場所 図書館交流プラザ「りぶら」ホール(岡崎市康生通西4丁目)
- 内容 講演とシンポジウム
講演「巨大台風がやってくる!」
講師 坪木 和久 (名古屋大学地球水循環研究センター准教授)
シンポジウム「ボランティアと社会貢献」
- 定員 250名 (先着順)
- 無料 (問合せ先 080-3062-8633 村越)

ホームページもご覧下さい。
<http://www.lctatsuki.com>

8月24日特別事業 講演とシンポジウム 開催

2010年8月24日(火)午後1時30分より岡崎市の図書館交流プラザ「りぶら」ホールにて 岡崎竜城ライオンズクラブ 特別事業「巨大台風がやってくる」講演とシンポジウムを開催いたします。

講師に坪木和久氏（名古屋大学地球水循環研究センター准教授）をお招きして、地球温暖化による気候変動を全球的な水循環の見地から、近未来において予測される巨大台風の発生について講演をいただきます。

水をキーワードに「巨大台風」の危機という事象から、地球規模の人間活動の賢明なシナリオとは何かを確認し、私たちの生活の安全安心の実現は、多様な生物の生態系が維持されることと同列にあることを学びたいと思います。

私たちが、日常の暮らしを環境調型に変えて行くには、どんなことに注意を払うべきかなど、多角的な見方でボランティアを考えるきっかけにしたいと考えております。

講師:坪木 和久 准教授 名古屋大学

プロフィール
現職:専任准教授
学位:理学博士



研究紹介

地球水循環において雲は要の役割を演じている。雲の中でも積乱雲は、大気下層に広がる水蒸気を降水という形で局所的に集中化させている。また、積乱雲はさまざまな激しい気象をもたらす。たとえば、豪雨、豪雪、雷雨、雹、突風、竜巻など。さらに積乱雲は台風や梅雨の主要素である。このような積乱雲を中心とする雲や降水に関わる物理過程、降水や雲のメソスケール気象学、豪雨・豪雪の気象学などを主に研究している。対象とする具体的な現象は梅雨、台風、冬季の降雪とそれに伴う降水、それらを構成する積乱雲とそれに関わる現象である。こうしたものについて観測、データ解析、コンピューターシミュレーションなどによる研究を行っている。特に雲に関わるこれらの現象の数値シミュレーションを目的として、雲モデルの開発を行なっている。このモデルを用いて、雲やその組織化した降水システムの数値実験やシミュレーション実験さらに数値予報などを行なっている。大学院ではこれらの研究についての指導をしている。

<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/profile/206.html>

巨大台風がやってくる!
講演とシンポジウムの集い
—ボランティアと社会貢献—

地球温暖化による気候変動の影響も、約100年以内には、半世紀の地球温暖化に伴って起こる可能性がある。気候・気象変動の科学的知識が蓄積された。これを基に予測はありますが、地球温暖化による気候変動、気候変動に伴う影響、社会生活への影響など、未だに多くの疑問が残っている。この疑問を解消するため、名古屋大学地球水循環研究センターが主催する「巨大台風がやってくる!」講演とシンポジウムを開催いたします。講演とシンポジウムを通じて、気候変動に伴う影響、社会生活への影響など、未だに多くの疑問が残っている。この疑問を解消するため、名古屋大学地球水循環研究センターが主催する「巨大台風がやってくる!」講演とシンポジウムを開催いたします。

主催 岡崎竜城ライオンズクラブ 協賛 岡崎教育委員会
日時 8月24日(火) 午後1時30分～1時50分(午後1時開場)
会場 図書館交流プラザ ホール(岡崎市民センター1階)
内容 講演とシンポジウム
講演 「巨大台風がやってくる!」
講師 名古屋大学地球水循環研究センター准教授 坪木和久氏(理学博士)
シンポジウム 「ボランティアと社会貢献」
参加者 岡崎竜城ライオンズクラブ 職員とボランティア
定員 200名(先着順)
無料 (現金先) 050-3062-8633 相談

巨大台風に関するニュース

ナショナル ジオグラフィック 2009年9月28日の記事

地球温暖化が西太平洋の気候パターンに影響を及ぼしているが、このまま温暖化が進むと、極めて勢力の強い“スーパー台風”が日本を直撃することになるという。

スーパーコンピューターを駆使してシミュレーションを行った結果、2074年には風速80メートルに達する台風が増加することが判明したという。

被害の大きさから竜巻を強度別に分類した改良藤田スケールで言えば、壊滅的な被害が生じる“EF4”に分類される威力だ。一般に、風速67メートル以上の台風をスーパー台風と言う。2005年8月には風速78メートルのハリケーン“カトリーナ”がアメリカのメキシコ湾岸地域を襲って甚大な被害をもたらしたが、風速80メートルの台風が日本に上陸した場合はそれ以上の被害が予想される。

「発生要因は西太平洋の海面温度の上昇だ」と、研究に参加した名古屋大学の坪木和久准教授は話す。今回の研究は、名古屋大と気象庁気象研究所の合同チームによって行われた。

坪木氏によると、地球温暖化がこのまま進行すれば西太平洋の海面温度は2080年までに 2度上昇するという。「わずかな温度差だが甘く見てはいけない。海水温が少しでも 上昇すると、台風に供給されるエネルギー量は飛躍的に増加する」と同氏は解説する。気温も重要な要素だ。気温が上昇すれば下層大気に含まれる水蒸気が増え、さらに多くのエネルギーが供給されることになる。坪木氏によると、台風の勢力範囲は通常500～800キロだが、発生が予想されるスーパー台風はそれより小さく400キロ程度だという。しかし、エネルギー、風速、破壊力はどれも前例のないレベルに達すると考えられる。「スーパー台風が実際に上陸したら、日本全土が大きな打撃を受けるだろう。これほど極端な気象現象に対する備えはない」と坪木氏は指摘する。暴風により家屋が倒壊するほか、橋や送電線などのインフラも破壊されることになる。また、大雨によって河川が氾濫し、低地では高潮による浸水被害も出るはずだ。日本の台風史上最も大きな被害をもたらしたのは、有名な伊勢湾台風（国際名：ヴェラ）である。この台風は1959年9月に和歌山県潮岬に上陸した後、国土を縦断しながら被害を及ぼし、計5238名の死者・行方不明者を出した。

岡崎市教育委員会との打合せ



継続アクティビティとなる

「教育文化賞」「中学生のためのクラシックコンサート」の開催について、青少年育成委員会(委員長L.杉江)による岡崎市教育委員会との打合せ会が開催されました。

2009-2010役員慰労会

2010年7月17日

前期役員慰労会が、レストラン六本木において開催されました。司会は代表世話人のL.鈴木佐吉。もう一人の代表世話人のL.杉江秀男の開会のあいさつに続き、前期役員みなさんに花束の贈呈が行われました。みなさんが壇上で花束を手にとどまっておられると、会場の明かりが少し落とされてピアノがプッチーニの「私のお父さん」を奏で始めると、見目麗しい歌姫が登場して、情感たっぷりに会場に向かって歌いはじめました。すると、いつもは大きな体躯で安心感を与えてくれる前会長の山本ライオンに異変が起きたのです。実は、歌姫はL.山本のご長女でした。サプライズなプレゼントに、L.山本のはにかんだ笑顔が会場を和ませ、華やいだ雰囲気広がりました。クラブの会長の重責に対して、ご家族として影で支えてこられたご令嬢が優しく語り掛ける、とても美しい情景でした。後で、このアリアの歌詞をL.市川恵一にお聞きして、またまたびっくりでした。

《ねえ！優しいお父様 あの方が好きなの、すばらしい、すばらしい方よ、ボルタ・ロッサへ行きたいの 愛の指輪を買いに！
本当！本当に！あそこへ行きたいの
もしもあの方を愛するのが無駄なことならば
ポンテ・ヴェッキオに行ってしまうかも
アルノ川に身を投げに
恋が私の胸を焦がし、苦しめるの！
どうぞ神様、死なせて下さい！
お父様、どうぞお願い、後生だから---(略)》
(あくまでも歌詞の意味ですから。)



前幹事のL.加藤晃一は、本当に献身的にクラブ運営の要の役を勤められました。頭が下がりました。献身的に尽くすこと、ライオニズムを体現した活躍でした。
(ライオニズムの究極の目的は、人々に友愛の尊さを教えることである。どこの町でも国でも、無私ということが物事を解決する最大の力となる。真の友愛は、人々がお互いに、信頼と尊厳を持って働き、そして食を分かち合うところに生まれる。メルビン・ジョーンズ)

前会計L.上野は、とてもスマートにご参会のみなさんの気持ちをお汲み取りになられウイ・サーブへの誘いをさりげなくされました。

会場に姿はありませんでしたが、私は、前年度副幹事のL.藤井幹雄にも大きな拍手を送りたいと思います。

PR・IT委員 L.川澄 薫

